

令和 8 年度 （美 術 I） シラバス

教 科	芸 術	科 目	美術 I		
単 位 数	2	学 年	1	類 型	共通
教 科 書	美術 1（光村図書）				
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	1 身近なものを描く（絵画）	・身近なものを描くことに興味をもち、形や色、用具の使い方などを理解し、構図を工夫して制作する。
	2 人物クロッキー（絵画）	・モデルや空間全体を見つめ、感じ取った特徴や美しさをもとに創造的な表現を追求できるようにする。
	3 平面構成（デザイン）	・目的や条件、美しさなどを考え主題を生成し、形や色、構成などについて考え創造的な表現ができるようにする。
	4 美術史入門（鑑賞）	・美術史に関心をもち、理解できるようにする。
2 学期	5 瓦粘土の彫刻（彫刻）	・身近な動植物などから感じ取った美しさを立体作品として創造的に表せるようにする。
	6 忘れられない情景（絵画）	・テーマに沿った主題を生成し、形や色、光や陰影、構図などについて考え、創造的に表現する。
3 学期	7 郷土の作家を知る（鑑賞）	・郷土の作家に関心をもち、理解できるようにする。
	8 絵本の構想と制作 （デザイン）	・テーマに沿ったストーリーを構想し、時間軸をもった表現の特性を生かして制作する。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・作品 ・ワークシート
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・作品 ・ワークシート ・鑑賞資料
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	・授業に取り組む態度 ・自己評価